

反射材フェア2021 オンライン開催

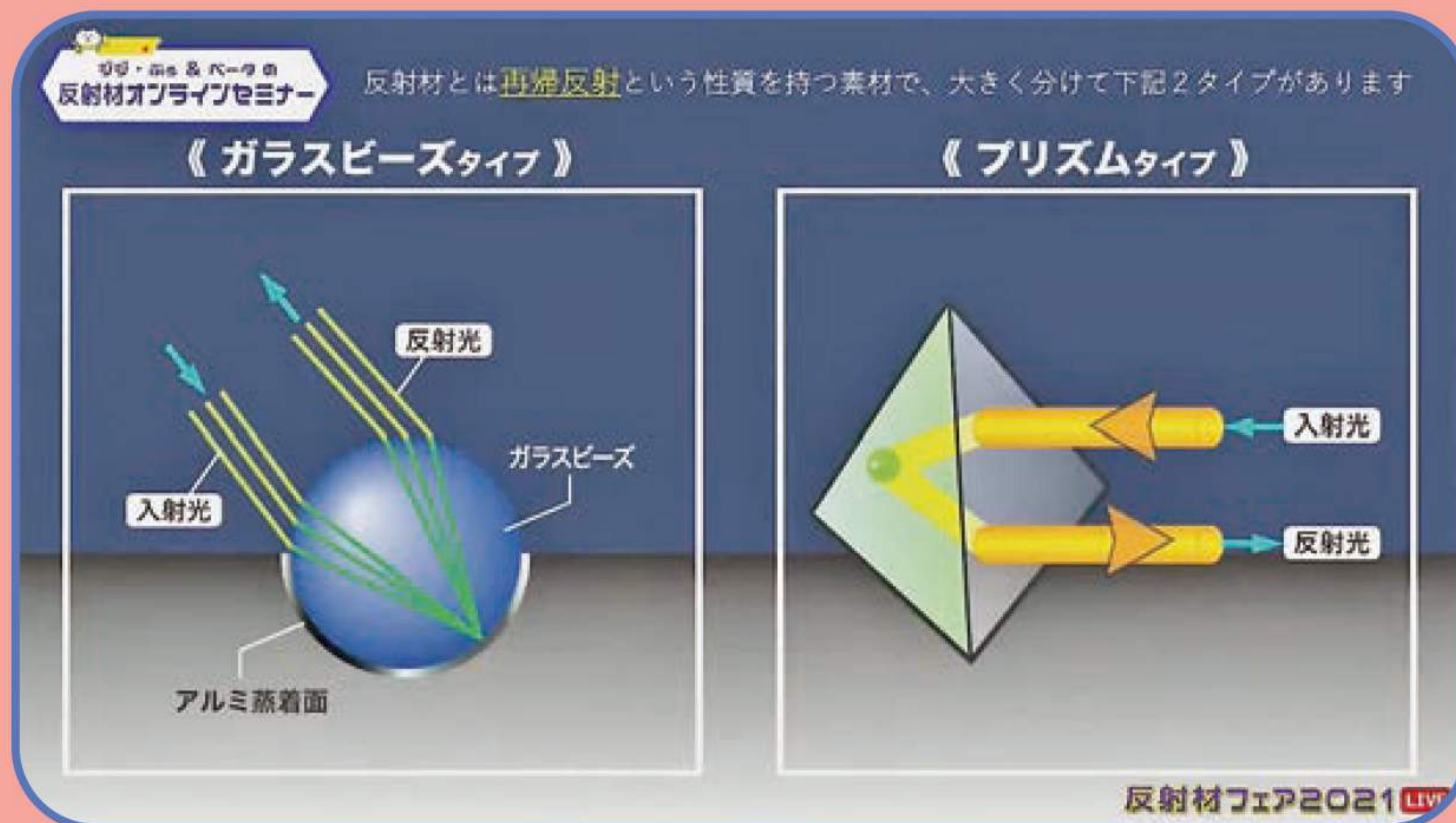
～ 着けよう反射材!! 防ごう夜間の交通事故 ～

広く一般の方々に夜間の交通事故対策に有効な反射材の効果を知っていただくために、10月16日(土)に反射材フェア2021がライブ配信されました(主催:(一財)全日本交通安全協会 反射材活用推進委員会 後援:警察庁 協賛:全国共済農業協同組合連合会)。

当初は池袋サンシャインシティにおいて開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度はライブ配信及び動画サイトでのアーカイブ配信となりました。

ゲストに劇団ワハハ本舗を迎え、「反射材オンラインセミナー」「反射材クイズショー」「反射材新製品紹介」「反射材ファッションショー」が行われたほか、警視庁による「交通安全教室」やJA共済の「魔法園児マモルワタル」「介助犬によるデモンストレーション」、バクステ外神田一丁目のパフォーマンスによる「反射材オンラインライブ」など多彩な内容で、反射材について楽しく学ぶことができました。

反射材オンラインセミナー



反射材っていったいなんなの？

反射材は再帰性反射という性質を持った素材でできています。再帰性反射というのは、普通の反射と違って、光がどのような方向から当たっても光源に向かってそのまま反射するように工学的に工夫した反射方向です。

反射材を身につけて車のヘッドライトの光が当たると、その光は光源である車に向かってそのまま反射されますので、運転者から非常によく光って見え、命を交通事故から守ります。

JA共済「魔法園児マモルワタル」親と子の交通安全ミュージカル

反射材ってなあに？ なんでつけるの？

暗くなってから外を歩くときにつけるものだよ。

暗い道を歩いている人は車の人からはとても見えにくいので、遠くからでも見つけられるようにするためだよ。



反射材をつけることで車の人からは50m離れたところからでも歩行者を見つけることができるので、歩行者の安全性が高くなるよ。

反射材クイズショー

夜間、車の運転者から歩行者が見える距離は衣服の色によって異なります。車のヘッドライトを下向きにしたとき、黒っぽい色で約26m、明るい色で約38m。では、反射材を身につけている場合は約何m以上の視認性があるのでしょうか？

運転者が歩行者を発見して、車が止まれるまでの距離は、乾いた路面を時速60kmで走行していて約44mです。



反射材を身につけている場合は約57m以上の視認性がありますので、反射材を身につけていないときと比べて、安全性が格段と高くなります。

警視庁 交通安全教室



夜間の交通事故防止について学びましょう。

黒は暗闇と同化して見えにくいです。白や黄色はよく見えますが、赤や茶色は意外と暗いところでは目立ちません。反射材は車のライトに反射して存在をアピールしてくれるものです。反射材があれば黒色の服を着ていても安心です。

反射材を身につけたりカバンなど普段持ち歩く物につけたりすると、とも効果的です。天気が悪くうす暗いときや、夕方の外出の際につけてください。外出のときは明るい服装で、反射材を身につけて！

反射材ファッションショー

反射材を使って作った洋服のファッションショー



暗いシーンと比較してみました